

ねん がつ にち
2023年12月31日

せい かぞく しゅじつ
聖家族の主日

きくち いさおだい しきょう
菊地 功大司教 メッセージ

ねん さいご にち にちようび
2023年の最後の日は、日曜日となりました。この一年を締めくくる最後の日は、せい かぞく
しゅじつ
の主日です。わたしたちと共^{とも}にいてくださる神^{かみ}は、人^{ひと}となられ、かぞく
のうちに誕生^{たんじょう}されました。

きょうこう
教皇フランシスコは使徒的^{し とてきかんこく}勧告^{あい}「愛のよろこび」において、「ナザレの、^{にんげん}人間の家庭^{かてい}へ
のみことばの受肉^{じゆにく}は、その新し^{あた}さによって世界の歴史^{せ かい れきし}を揺り動か^{ゆ うご}します (65)」と記し
ています。教皇^{きょうこうさま}様は、第二バチカン公会議^{だいに こうかいぎ}の教会憲章^{きょうかいけんしょう}が「家庭^{かてい}の教会^{きょうかい}」という言葉^{ことば}
を使って信仰者^{しんこうしゃ}の家庭^{かてい}に聖なる意味^{せい いみ}と価値^{かち}があることを再確認^{さいかくにん}し、「家庭^{かてい}が健全^{けんぜん}であるこ
とは、世界^{せ かい}と教会^{きょうかい}の将来^{しょうらい}にとって、決定的^{けつていてき}に重要^{じゅうよう}なことです (31)」と記します。

どうじ きょうこうさま
同時に教皇^{きょうこうさま}様は、そうは言いながらも、「今日^{けふ}の家庭^{かてい}の現実^{げんじつ}に、それが置かれて^おいるあ
らゆる複雑^{ふくざつ}さを含め、光^{ひかり}の面^{めん}も影^{かげ}の面^{めん}も見^みています (32)」と記し、様々^{さまざま}な危機^{きき}に直面^{ちよくめん}
して崩壊^{ほうかい}している家庭^{かてい}の課題^{かだい}にも触^ふれています。その上^{うえ}で教皇^{きょうこうさま}様は、「家庭^{かてい}が、いのち
が生まれ^う、育^{はぐく}まれる、いのちの聖域^{せいいき}であるならば、そこが、いのちを否定^{ひてい}し、破壊^{はかい}する場
になってしまうという事態^{じたい}は、恐^{おそ}るべき矛盾^{むじゆん}である (83)」と強調^{きょうちよう}されます。

ひてい はかい かんきょう なに
いのちが否定^{ひてい}され破壊^{はかい}される環境^{かんきょう}とは何^{なに}でしょう。しばしば耳^{みみ}にする家庭内^{かてい}の暴力^{ぼうりよく}や
虐待^{ぎゃくたい}によって、子どもたちのいのちが危機^{きき}にさらされている状^{じょう}況^{きょう}もその一つ^{ひと}です。同時^{どうじ}
に教皇^{きょうこうさま}様は、移民^{いみん}や難民^{なんみん}となること、戦争^{せんそう}や紛争^{ふんそう}に巻き込まれること、貧困^{ひんこん}や劣悪^{れつあく}な環境^{かんきょう}
に放置^{ほうち}されることも、家庭^{かてい}においていのちが否定^{ひてい}され危機^{きき}にさらす環境^{かんきょう}であることを指^し
摘^{てき}されます。わたしたちの国^{くに}においても、様々^{さまざま}な要因^{よういん}が複雑^{ふくざつ}に絡み合^{からあ}う中で、家庭^{かてい}の崩壊^{ほうかい}
や、家庭^{かてい}におけるいのちの危機^{きき}が現実^{げんじつ}の課題^{かだい}として存在^{そんざい}しています。

わたしたちには、いのちをコントロールする権利^{けんり}はあた
与えられていません。それは、唯一^{ゆいいつ}、
いのちの創造主^{そうぞうしゅ}である神^{かみ}の手^ての中^{なか}にのみある権利^{けんり}です。

この一年を振り返るとき、世界各地では紛争状態の中でいのちが暴力的に奪われる状況が数多く見られ、その中で特に、大切にされ豊かに育まれなくてはならない子どもたちのいのちが暴力的に奪われる事態も発生しています。とりわけこの降誕祭の期間、わたしたちは神の言葉が人となられた聖地において、いのちを奪う暴力が吹き荒れていることを憂慮せざるを得ません。

また貧富の格差が拡大する中で、さらには環境が破壊される中で、家庭の存続が危うくなり、守られるべき幼子たちのいのちが危機に直面する事態も広く見られます。

一年を締めくくるこの日、神が人となられ、ナザレの聖家族のもとに誕生されたことを思い起こしましょう。その家庭でイエスが30年間、豊かに育まれたことを思い起こしましょう。いのちを否定し、破壊するあらゆる状況に、勇気を持って立ち向かうことができるように、聖霊の導きを願いましょう。新しい年が、豊かに祝福された一年となりますように。